

〔 横浜市民ギャラリー 〕

令和 7 年度業務計画及び収支予算

〔公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市民ギャラリー
所 在 地	横浜市西区宮崎町 26－1
構 造 ・ 規 模	鉄筋コンクリート 4 階建（地下 1 階～地上 4 階）
敷 地 ・ 延 床 面 積	敷地面積 2,301.11 m ² 、延床面積 3,428.44 m ²
開 館 日	平成 26 年 10 月 10 日

2 指定管理者

団 体 名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
代 表 団 体 所 在 地	横浜市中区山下町 2 番地
代 表 団 体 代 表 者	理事長 近藤 誠一
代表団体設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者（代表団体）の 管理運営開始日	平成 8 年 4 月 1 日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

（1）基本的な方針

1964 年の開館以来、日本で最初に「市民ギャラリー」を冠した施設として、市の芸術文化発展の一端を担い親しまれてきた歴史の継承と、未来へ向けた文化芸術政策への貢献を念頭に、第 4 期指定管理期間に課せられた「6 つの使命」の実現に向けた取組を展開します。

「市民のためのギャラリー」であるからこそ可能である、市民の文化活動を支え、次世代育成を重視し、地域と連携しながら「誰もが芸術文化に触れることができる機会」を提供します。

また、市民の貴重な財産である収蔵作品の保管環境の改善と修復等について市と緊密に情報共有を行うとともに、自主事業を通じてその魅力を伝えていきます。

「変わらない安心と変わる勇気」をもって、持続可能な施設運営を目指し、安心・安全で快適な環境づくりに努めます。

(2) 令和7年度の業務の取組方針

ア 全体について

第4期指定管理期間の4年目となる令和7年度は、「指定管理期間（5年ごと）という時間軸を超えた持続可能な施設運営」をテーマに、中長期スパンの視点に立ち各事業の見直しを通じた運営基盤の再整備を行います。

当館の60年を超える歴史に裏付けされた「土壌」に、この指定管理期間における「6つの使命」達成に向けた様々な試みの「芽」が健やかに育つよう、職員の知見やノウハウにより耕し風を送り込むことで、「指定管理期間の先にある市民ギャラリーのあるべき姿」のデフォルトを築きます。

また、財団中期経営計画の最終年として、計画に掲げられている「5つの事業方針」に対する達成度合いを意識し、様々な社会課題解決に貢献する文化施設の在り方を実証することで、当館の活動が「地域に根差したギャラリー」として、市民の日常生活において潤いをもたらす活力増進に貢献するものであるというプレゼンスの向上に勤めます。

イ 使命1 文化芸術活動を促進するため、活動の場を提供する：市民の皆さんに美術を中心とした文化芸術活動を創作、体験、発表する場を提供することで、市民の文化芸術活動を支援し、文化活動人口（文化活動の支援者を含む）の増加に寄与する。

☆展覧会を開催する人、鑑賞する人、作品を創る人…芸術文化に親しむ全ての人々にとって身近に開かれた「晴れの間」であり、「人と人が交流する喜びを生む空間」であるよう利用者側の視点に立った細やかで丁寧な施設の貸出業務を心掛けていきます。

D X化による業務改善にも留意しつつ、その潮流に乗れない層への配慮も行うことで、幅広い世代に適切なバランス感覚ある貸館受付の手法を検討します。

「横浜における美術拠点のハブ」として、公設・私設、大小を問わず市内に数多く存在する美術施設の情報を集約し発信することにより、市内におけるギャラリー活動の支援を通し芸術文化活動に携わる人々の増加に寄与します。

現在、シニア層が多数を占めている貸館利用者層の世代的な幅を拡げるとともに、次世代アーティスト育成にも貢献する「U35 若手芸術家支援事業」については、そのプロモーションを再検討し、対象となるアーティストへのアプローチを強化します。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

ウ 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する：美術を中心とした、芸術文化に触れる機会を提供することで、新たな気付きや発見を促し、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

☆開館以来、横浜の芸術文化醸成の一翼を担い「現代美術」を牽引してきた当館の伝統を未来へ繋いでいきます。「新・今日の作家展」において同時代に活動する作家の作品に触れ楽しむことは、

今を生きている鑑賞者自身の内面への繋がりや揺らぎを誘発し、新たな気づき、共感、違和感等を通した心豊かな体験に寄与します。この、現代美術鑑賞への敷居を下げ、より多くの方に鑑賞機会を提供すべく引き続き無料開催とした上で、多くの来場者を獲得できるようテーマ設定、展示方法及び広報宣伝等に様々な工夫を講じます。また、アーティスト・インタビューおよびアーカイブの充実を図り、現代美術への関心を促すとともに作家の活動を広く発信します。

初めて制作を体験する方から創作活動が続けている方、学生や社会人、シニア世代まで、美術に関する経験の有無を問わずに参加することができる「大人のためのアトリエ講座」では、専門的な創作活動やレクチャーの体験を通じ芸術文化に親しみ、集い、様々な背景を持つ人との交流を促します。

当館がこれまでに築いてきた地域との関わりを軸に、「横浜・紅葉ヶ丘『まいらん』」事業の推進、近隣施設に出向いた出張ワークショップ、若葉町・黄金町エリアの文化施設との情報交換などを展開します。

1年を通じ多種多様な展覧会に気軽に訪れることができる場として、地域に根差した活動をしている団体（町内会、公共施設、画廊、創造界限拠点、教育・保育施設、神社仏閣等）と分野を越えて繋がり、その多彩な人々との出会いから、様々な価値観に触れるコミュニティ醸成の機会を提供します。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

- エ 使命3 収蔵作品の活用を通じて、文化芸術活動への興味を引き出す契機となる：収蔵作品の調査研究に取り組むとともに、計画的かつ適切な管理・保存等を行うことにより、収蔵作品を次世代へ継承する。また、収蔵作品の活用を積極的に行い、美術に対する関心を喚起する機会を創出する。

☆当館の収蔵作品は、主に戦後・昭和後期および地域の美術史を顕すものであり、市民の貴重な財産です。制作当時の時代性が反映された表現は過去を知る手がかりとなり、現代においても新たな視点をもたらします。この収蔵作品を、「コレクション展」を核とした各種事業を通じ積極的に活用し、美術への関心を喚起する機会を創造発信します。また、前年度に全自主事業の情報公開を完了しているホームページ「事業アーカイブ」を合わせてPRすることで当館事業の歴史と層の厚みを発信します。

収蔵作品とその解説を情報誌やホームページのみならず、エントランスのモニターや送迎車等において上映する取組みを行います。

「横浜市こどもの美術展」内のイベントとして好評を得ている、「こどものためのコレクション展」を継続し、子どもたちとその親世代と一緒に所蔵作品に親しむ機会を提供します。

収蔵作品を指定管理期間という時間的な制限を超越した「文化資産」として次世代へ継承するために、作品の状況及び修復の必要性や収蔵庫の環境改善などについて、横浜市と密に情報共有し協働を推進します。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

オ 使命4 文化活動を切り口として、次世代育成を中心にあらゆる人を受け入れる：次世代育成を中心に、美術を中心とした文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育む。

☆昭和40年（1965年）に初回を開催した「横浜市こどもの美術展」は今年度60周年を迎えます。立ち上げ当初の理念を引継ぎ、子どもたちの自由な発想に繋がるテーマ設定を行い、多くの子どもたちの作品が集まるよう周知を行うとともに、その実施に伴う「募集、受入、展示、返却」といった一連の業務について、引き続き工夫を加え着実に実施していきます。

家庭や学校以外の「第3の場所」として、子どもたち（主に幼児・児童）が当館での造形活動＝「ハマキッズ・アートクラブ」等を通じ「自分で考える」「自分できめる」「自分ですることの楽しさや醍醐味を体験することにより、自由な発想と豊かな表現を育み健やかな成長を応援するとともに、生涯にわたって芸術文化に親しむ切っ掛けを創出します。

引き続き文化活動に関わる就業を目指す学生のみならず、街づくりや保育・教育などにも携わる可能性がある次世代の人たちがインターンとして美術施設運営の現場体験を積むことができる機会を提供します。

中学生から高齢者まで幅広い年代の方が参加できるボランティア活動の受入れを継続します。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う：法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。文化施設としての専門性を発揮し、市民の皆さんに親しまれる施設となる。

☆当館施設は、築38年（1987年竣工）を超えた建物を改修して利用しています。そのため、施設の長寿命化を図るための予防的修繕や収蔵庫の環境改善が重要です。快適な施設環境の提供とお客さまの安全を第一とした運営を維持すべく、建物管理を専門とし文化施設の施設運営に豊富な経験とノウハウを持つ事業体として、専門的な知見から常に状況を的確に把握し、予防的修繕や維持管理を行うとともに、長期的な持続可能性を高めるための修繕や計画について横浜市に情報提供を行い協働し取り組みます。

IPM（総合的有害生物管理）では、施設内の情報共有を密にし、収蔵作品を持つ施設として環境

維持への意識を高く保つため、共同事業体による月1回の環境管理会議を継続し、情報共有・環境改善に役立てます。

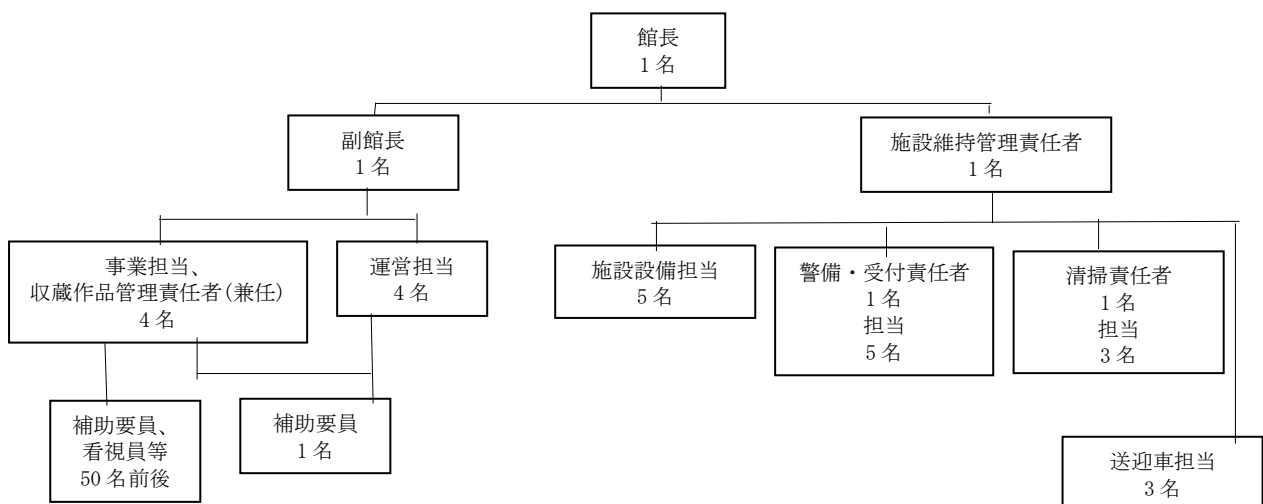
※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

- キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する：新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に貸館事業及び自主事業を実施し、市民の文化活動の基盤としての施設運営を継続する。

☆新型コロナウイルス感染症自体は、「第5類」となり、「ウィズコロナ」の生活様式にフェーズが移行しましたが、引き続き横浜市との綿密な情報共有と連携を図り、時流に即した衛生管理や対策を徹底し迅速に対応することで、市民の皆さんの芸術文化活動の安全を担保した基盤としての役割を維持します。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

4 運営組織の構造、人員配置



統括責任者である館長の下に、事業、運営系に横浜市芸術文化振興財団の職員（一部業務委託を含みます）が、施設維持管理系に西田装美株式会社の社員（送迎車は平和交通株式会社に委託）を配置します。

共同事業体としての専門性、強みを活かした運営組織となっています。

5 収支

利用料収入以外での収入の獲得と経費削減との両輪で、適切な収支バランス確保に努めます。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

6 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

各種計画書・報告書につきましては、遅滞なく提出いたします。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

7 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術活動を促進するため、活動の場を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設利用率（展示室及びアトリエ）	展示室	89%	95%以上	89%	—	—	95%以上
		アトリエ	63%	44%	58%	—	—	45%
2	総来場者数	16.6万人	25万人以上	17.4万人	—	—	25万人以上	—
3★	新規利用登録団体数（展示室、アトリエ共通）	28件	20件以上/年	22件	—	—	20件以上/年	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者、来館者の状況についての現状把握	R 4 実績	「お客さま台帳」の整備を進めました
		R 5 達成指標	「お客さま台帳」の作成やアンケート調査を行い、ニーズを把握
		R 5 実績	「お客さま台帳」を完成し稼働しました。引き続き、アンケート調査を行い、ニーズを把握しています。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	把握したニーズが運営に反映されている
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ①現行の直接来館・FAXに加え、メール等による施設利用申請受付の導入検討
- ②時代の潮流を反映した表現形式に対する展示室利用制限の柔軟化検討
- ③利用者アンケートの集計結果を分析・考察したレポートの課内全職員への共有と運営への反映
- ④U35事業の見直しとエントリー増加へ向けたプロモーション強化

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	自主事業への参加人数	4,960 人	4,000 人以上	4,810 人	—	—	4,000 人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	4.7	満足度 調査平 均 4.0 以上	4.7	—	—	満足度 調査平 均 4.0 以上	—
3 ★	5館連携事業「横浜・紅葉ヶ丘まいらん」、アートなお散歩支援事業、地域連携事業などで新たに連携する団体	3団体	3団体	3団体	—	—	5団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の声(インタビュー調査)	R 4 実績	インタビュー手法について検討
		R 5 達成指標	インタビュー調査実施、ニーズ・課題を把握
		R 5 実績	インタビュー調査実施、ニーズ・課題を把握
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	参加者の声を運営に反映
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

- ①横浜美術館の再開館も念頭に「大人のためのアトリエ講座」ラインナップを再検討＝より初心者の方でも参加しやすい講座や参加者の生活と関連する創作体験など広範な市民を対象とした講座の実現
- ②PR TIMES や各種 SNS を活用した、効果的な「新・今日の作家展」の広報手法を模索
- ③横浜・紅葉ヶ丘まいらん 5館の連携を軸とした、地域連携事業の強化

(3) 使命3 収蔵作品の活用を通じて、文化芸術活動への興味を引き出す契機となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	コレクション展への来館者数	4,842 人	4,000 人以上	3,333 人	—	—	4,000 人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	4.5	満足度 調査平均 4.5以上	4.6	—	—	満足度 調査平均 4.5以上	—
3 ★	本施設ホームページ収蔵作品紹介「今月の1点」への来訪者数	1,689 件	3,000 件	1,439 件	—	—	3,800 件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

	項目	達成指標と各年度の実績	
1	収蔵作品 の状況把握	R 4 実績	作品の点検、確認を行い各種データに反映の実施
		R 5 達成指標	作品の点検、確認を行い各種データに反映
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	横浜市と以降5年の作品修復計画を協議
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ①コレクションの調査・研究を継続的に行い、その成果を事業企画に反映
- ②幅広い世代に親しんでいただけるコレクション展や関連イベントの実施
- ③エントランスや送迎車内でのコレクション紹介映像の上映

(4) 使命4 文化活動を切り口として、次世代育成を中心にあらゆる人を受け入れる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	次世代育成を目的とした事業への参加人数	4,138 人	15,500 人以上	10,762 人	—	—	15,500 人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	満足度 平均 4.9	満足度 平均 4.5以上	4.8	—	—	満足度 平均 4.5以上	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の声（インタビュー調査）	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	インタビュー調査実施、ニーズ・課題を把握
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	参加者の声を運営に反映
		R 8 実績	—
2★	事業に参加した親子、職業体験参加の生徒・保護者（特別支援学校・養護学校）へのアンケート実施	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	結果分析、事業見直し、企画立案
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業一部リニューアルまたは新規事業開始
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ①開催60周年を意識した「横浜市こどもの美術展2025」への取り組み
- ②幼児・児童の自主性を育む造形・体験講座の実施
- ③幅広い世代が自身の力を社会で役立て、学びや交流を広げられるボランティア活動

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施率	100%	100%	100%	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	138%	90%	447%	—	—	90%	—
4	自主的な収入を得るための取組と目標額	1,802万円/年	1,500万円/年	1,601万円/年	—	—	1,500万円/年	—
5★	IPM（総合的有害生物管理）の手法による環境管理の実施率	100%	100%	100%	—	—	100%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通 番	項 目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使 いやすさ や快適さ について のヒアリ ング	R 4 実績	実施手法等について検討
		R 5 達成指標	ヒアリングを行い、必要と判断される案件について対応
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリングを行い、必要と判断される案件について対応
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ①専門的な知見から、常に状況を的確に把握し予防修繕や維持管理に反映
- ②長期的な持続可能性向上に向けた修繕計画について横浜市に情報提供し協働で取り組む
- ③IPMに関する施設内における情報共有（月1回の環境会議等）を密にし環境改善を推進

(6) 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

使命6を達成するために重点的に取り組む事項

- ①市との情報共有を図り、国、県、市及び美術業界や業種別の動向を踏まえた衛生管理
- ②文化芸術活動基盤の役割維持と感染症対策のバランスを考慮した施設運営を確立
- ③引き続き、共有スペース等への定期消毒の継続実施

令和7年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書

収入の部							(税込、単位：円)
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (A-D)	説明
	指定管理料	158,888,000				158,888,000	横浜市より
	利用料金収入	12,950,000				12,950,000	施設利用料、駐車場収入
	自主事業収入	1,111,000				1,111,000	
	雑入	1,943,000	0	0	0	1,943,000	
	印刷代	40,000				40,000	
	自動販売機手数料	160,000				160,000	
	その他（助成金・協賛金・広告料等）	1,743,000				1,743,000	助成金、広告料、雑収入等
収入合計		174,892,000	0	0	0	174,892,000	
支出の部							
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (A-D)	説明
人件費		77,090,000	0	0	0	77,090,000	
	給与・賃金	64,358,000				64,358,000	展覧会看視スタッフ賃金含
	社会保険料	8,670,000				8,670,000	
	通勤手当	1,775,000				1,775,000	展覧会看視スタッフ通勤手当含
	健康診断費	47,000				47,000	
	勤労者福祉共済掛金	48,000				48,000	
	退職給付引当金繰入額	2,192,000				2,192,000	
事務費		3,191,000	0	0	0	3,191,000	
	旅費	150,000				150,000	
	消耗品費	303,000				303,000	
	会議賄い費	0				0	
	印刷製本費	150,000				150,000	
	通信費	800,000				800,000	
	使用料及び賃借料	851,000	0	0	0	851,000	
	横浜市への支払分	123,000				123,000	自動販売機目的外使用料
	その他	728,000				728,000	
	備品購入費	620,000				620,000	
	図書購入費	0				0	
	施設賠償責任保険	46,000				46,000	
	職員等研修費	10,000				10,000	
	振込手数料	100,000				100,000	
	リース料	100,000				100,000	
	手数料	25,000				25,000	
	地域協力費	36,000				36,000	町内会費
事業費		14,245,000	0	0	0	14,245,000	
	自主事業費	14,245,000				14,245,000	
管理費		67,538,000	0	0	0	67,538,000	
	光熱水費	14,809,000	0	0	0	14,809,000	
	電気料金	10,409,000				10,409,000	
	ガス料金	3,700,000				3,700,000	
	水道料金	700,000				700,000	
	清掃費	0				0	その他保全費に含む
	修繕費	600,000				600,000	
	収蔵作品点検・修復費	1,200,000				1,200,000	
	機械警備費	0				0	その他保全費に含む
	設備保全費	50,894,000	0	0	0	50,894,000	
	空調衛生設備保守	0				0	その他保全費に含む
	消防設備保守	0				0	その他保全費に含む
	電気設備保守	0				0	その他保全費に含む
	害虫駆除清掃保守	600,000				600,000	その他保全費に一部含む
	駐車場設備保全費	0				0	その他保全費に含む
	その他保全費	50,294,000				50,294,000	清掃費、機械警備費、空調衛生設備保守、消防設備保守、電気設備保守、駐車場設備保全費、送迎車委託費、PC等保守費等
	負担金	35,000				35,000	
公租公課		6,593,000	0	0	0	6,593,000	
	事業所税	0				0	
	消費税	6,529,000				6,529,000	
	印紙税	25,000				25,000	
	その他（法人住民税・電波使用料）	39,000				39,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）		6,235,000	0	0	0	6,235,000	
	本部分	6,235,000				6,235,000	
	当該施設分	0				0	
		0		0		0	
支出合計		174,892,000	0	0	0	174,892,000	
差引		0	0	0	0	0	